Agilent LC/MS G1946,G1956,G6100, -QP-

Vent (装置シャットダウン) チェックリスト

事前準備(所要時間 30-60分): OK? □

ロータリーポンプのミストフィルターのオイル量確認

(MS40 の場合は外付けのミストフィルターとバラストバルブはありません)

溜まっている場合:ロータリーポンプのガスバラストバルブを開き

30分間放置し完全にフィルターにオイルが無いこと

オイル量の確認:半分以上レベルにある事を確認して下さい。

オイルの色の確認:色が黒くなっている事が確認される場合にはオイル交換

目安半年に1回交換になります。

・ロータリーポンプのバラストバルブをクローズして下さい。

バラストバルブの開け閉めが硬い場合には対処方法参照

・落とす前に下記の値を確認します。

窒素ガス発生装置:

圧力: **0.65**MPa (規定値 0.6~0.7MPa)、フローバルブ フル Open



起動手順(所要時間 30分前後):OK? □

- 1. ChemStation を開きます。
- 2. 画面を Diagnostic へ切り替えます。
- 3. プルダウンメニュー "メンテナンス"

"MS Vent" を選択し

"Start"実行

4. ターボ回転数、真空度が大気 圧になりインジケータが終了

5. ChemStation を閉じます。

6. 装置前面のパワーSW を Off G1946、G1956の場合は+ 左側面白いブレーカ Off

7. 分電盤のブレーカーを Off に するか電源ケーブルを抜く

ユティリティーの電源 Off

- 1. N2 ジェネレータの電源 Off
- 2. N2 ジェネレータのブレーカーOff

*ロータリーポンプのオイル交換が必要な場合このタイミングで実施します。

ump down

process complete!

Agilent Technologies





Maintenance Diagnosis

MSD Vent.

MSD Pumpdown. MSD Turbo Pump Control.

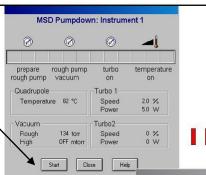
MSD Frequency Adjustment.

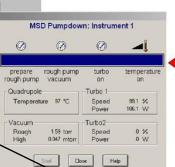


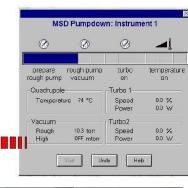
FAULT.D. ATUNES.TUN

中断(A) ヘルブ(H)

分析 発生した現象 _DA









Rev.1

(2011-12)